

年間第 27 主日の説教(国際ミサ)

金 大烈 神父 2008 年 10 月 5 日(日)

《韓国登村(トンチョン)三洞(サンドン)教会からの巡礼団を迎えて》

お元気ですか? (「元気で~す。」) ありがとうございます。

今日は「国際ミサ」ですし、ミサの後「クララ祭」も行われますから、お説教はできるだけ短くしたいと思います。

ミサの前に申し上げたように、今日ここに集まった私達は違う文化、違う国籍、育ってきた背景も違います。好みも違います。ある意味で同じものを探す方が簡単かもしれません。いろいろな違いを持っている私達がただ何によってここに集まっているのですか? イエス様によってですよね。イエス様から恵みを頂くためですね。このように沢山の国の人達が一緒に集まってミサを捧げる時いつも私の頭に浮かぶのは、このような共同体が未来の教会の姿じゃないかということです。世界は一つの村と言われるように小さくなっています。この太田にも 60 ヶ国の人達が住んでいます。この教会には 27 ヶ国、アメリカ人が一人入ってきましたから 28 ヶ国の人達がいます。ただイエス様によって同じ愛、同じ信仰、同じ思いで集まっています。これがイエス様が望んでいることだと思います。

私達の国籍はどこですか? 「神の国、イエス様の国」です。同じ国の兄弟姉妹、お父さん、お母さん、息子、娘です。とにかくひとつの心、信仰によって分かち合うことができれば幸せを体験できると思います。感謝の心でこのミサを捧げましょう。

(韓国語、英語、ポルトガル語、スペイン語で通訳される。)

それでは三洞教会の劉(ユウ)パウロ神父様から一言お話を頂きましょう。

(日本語で)「おはようございます。 さようなら。」(笑いの渦に包まれる。)

(以後は韓国語で。金神父様が通訳される。)

話し出すと長くなりそうですからできるだけ短く話させて頂きます。

何よりこのように世界のいろいろな国から来ている兄弟姉妹たちとミサを捧げることができることは私にとって栄光になります。先ほど金神父様が全部言ってくれたので私はひとつだけ申し上げます。何度も繰り返される言葉ですが、私達は違う顔立ち、違う肌の色、いろいろ違いはあってもイエス様によって結ばれた共同体を作ることができれば最高じゃないかと思います。私のいる登村三洞教会の人達は日本の太田教会の皆様のことを心に留めてお祈りを捧げています。皆様も私達登村三洞教会のことを心に留めて頂ければ幸いです。私達は明日韓国に帰ります。すなわち、私たちは空間的に離れます。もしそうであっても、私達はやっぱり祈りによって繋がっていることを確信します。

ありがとうございました。